

平成28年度 広島大学附属三原学校園 第19回幼小中一貫教育研究会 (1次案内)

本学校園は文部科学省研究開発学校の指定を受け、新領域「希望(のぞみ)」を核とした研究開発を進めています。本年度は延長指定2年次(研究開発5年目)にあたり、その成果を12月2(金)3日(土)の2日間に渡り、次の内容で公開します。

<主な提案内容>

- ①12年間一貫カリキュラムにおける「資質・能力ベース」の保育・学習指導のあり方
- ②主体的に自己を変容させることにつながる「12年間を見通した評価方法」

文部科学省研究開発学校指定校(延長指定平成27~29年度) 研究課題

社会的自立の基礎となる資質・能力及び態度・価値観の体系的な育成のための、幼小中一貫の新領域を核とした自己開発型教育の研究開発<第5年次(延長2年次)>

態度・価値観

共生

自律

参画

12年間で育成する「社会の中で『真に生きてはたらく力』」

資質・能力
(通教科的な能力)

人間関係形成・
社会形成能力

キャリアプラン
ニング能力

課題対応能力

これらの資質・能力を「通教科的な能力」として位置づけ、
学校教育活動全体を通して育成

第1日目

平成28年12月2日(金)

「希望(のぞみ)」の公開保育・授業
及び研究協議会

☆12年間一貫の発達と接続を意識した新たな学年区分による保育・授業の中で3つの資質・能力が育まれている子どもの姿をご覧ください。

「入門期(年少・年中)」 「幼小接続期(年長・1年・2年)」
「中間期(3年・4年)」 「小中接続期(5年・6年・7年)」
「最終期(8年・9年)」の5つの学年区分による保育・授業を
提案します。※赤字は保育・授業公開学年

講演会

講演者

白梅学園大学大学院子ども学研究科教授

無藤 隆 先生

研究開発フォーラム

第1部 子どもプレゼン

テーマ:子どもが語る「希望(のぞみ)」

第2部 研究開発学校サミット

テーマ:資質・能力の育成をめざした主体的な学
びの創造

参加校 幼稚園:神戸大学附属幼稚園
小学校:尾道市立土堂小学校
中学校:交渉中

第2日目

平成28年12月3日(土)

公開保育・授業及び研究協議会

☆「通教科的な能力」と関連的に育む保育・教科の本質に根ざした資質・能力とは何か、指導のポイント、評価方法等を明らかにします。

<公開保育・教科>

幼稚園: 年長

小学校: 国語・社会・算数・理科・生活・音楽
図画工作・体育・外国語活動

中学校: 国語・数学・理科・音楽・美術・家庭科・英語

講演会

講演者

千葉大学教育学部特任教授

天笠 茂 先生

— 参加・申し込みにあたって —

・一般 2,000 円 学生 500 円

・詳細は追って本学校園HPに掲載

— 問い合わせ —

広島大学附属三原幼稚園・小学校・中学校
〒723-0004 広島県三原市館町2丁目6番1号

TEL: 0848-62-4642(幼) 0848-62-4238(小) 0848-62-

4777(中) FAX: 0848-60-0121(共通)

Mail: fmihara@hiroshima-u.ac.jp

URL: <http://www.hiroshima-u.ac.jp/fmihara/>